

いま、大阪のメダカは !! カダヤシ・メダカ生息調査のお誘い

シニア自然大学校・地域貢献活動部門は、自然環境保全活動の一環として大阪市立自然史博物館のプロジェクトA“カダヤシ・メダカ採集調査”に協力・支援することになりました。

講座生・会員の皆さん、プロジェクトAに参加してお住いの地域の水辺環境と生き物たちの営みを覗いて見ませんか？ 大阪府内でも懐かしいメダカが年々数を減らしています。その原因はメダカの棲める環境が失われつつあることと外来種カダヤシの繁殖であると考えられています。大阪府下のメダカとカダヤシの生息分布状態とその相互関係を明らかにするのが、今回の調査の狙いです。水辺の生き物調査は初めてという方でも、生息ポイントやカダヤシとメダカの見分け方が分かれば大丈夫です。

今回の調査は、外来種カダヤシと在来種メダカの分布状況を中心に大阪府下全域を対象に平成30年4月～10月に実施するものです。

カダヤシとメダカの特長（自然史博、「同定ガイド」参照）

1) カダヤシ（国外外来種、特定外来生物、卵胎生）

- (1) 全 長：3～5.5cm、原産地は北アメリカ。
- (2) 特 長：体形はメダカに似る。尾鰭後縁が丸く、尻鰭の基底が短く幅が狭い。
雄の尻鰭は交接器の役割。
- (3) 色模様：体色がやや青っぽい。背中に黒線は無い。

2) ミナミメダカ（日本固有種、絶滅危惧Ⅱ類、卵生）

- (1) 全 長：4～5cm、日本で最小の魚。但し他種の稚魚も同程度のものがある。
- (2) 特 長：目が大きく顔の上方口は受け口。尾鰭後縁は直線、尻鰭が大きく長方形。
- (3) 色模様：色は黒みを、養殖ヒメダカは黄～赤色を帯びる。背中に黒線が目立つ。

〔対 象 魚〕



ミナミメダカ



ヒメダカ



カダヤシ（特定外来種）

カダヤシ・メダカの生息場所・調査の仕方・採集方法と同定・調査票の作成等については説明会で詳しくお知らせします。また、実施にあたっては講習会・体験学習会も開催します。

第2回説明会を平成30年5月22日（火）にシニア自然大学校事務所A会議室で行います。ぜひ、ご参加ください。申込み等については裏面をご覧ください。

第2回

『大阪府におけるカダヤシ・メダカの生息調査』説明会

大阪府下のメダカとカダヤシの生息調査に興味のある方、自然環境保全活動に関心のある方はぜひ、説明会にご参加ください。

日 時：平成 30 年 5 月 22 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場 所：認定 NPO 法人シニア自然大学校 事務所 A 会議室

大阪府中央区谷町 3 丁目 1 番 18 号 NS21ビル 8 階

（地下鉄谷町線「谷町 4 丁目駅」1-A, 1-B 出口すぐ）

申込み：①FAX の場合、下記の申込み用紙に記入の上、送信してください。

②メールの場合、下記の必要事項を記入の上、送信してください。

締切り：平成 30 年 5 月 18 日（金）

認定 NPO 法人 シニア自然大学校・地域貢献活動部門

FAX：06-6937-8078

Eメール：kaneto@sizen-daigaku.com

申 込 用 紙

第 2 回『大阪府におけるカダヤシ・メダカの生息調査』説明会、申し込みます。

氏 名			
住 所	〒 -		
電 話		携帯電話	
Eメール			
所 属	本校の会員 ・ 講座生 ・ 一般 （○で囲んで下さい）		

※申込み用紙に記載された個人情報は、連絡があるときのみ使用させていただきます。